

本太中だより

第2号

令和6年5月2日

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

本太中 一歩前へ 目標に向けて歩む どこを見て進むのか

校長 田中 一秀

木々の新緑が少しずつあざやかになり、その木々の間をさわやかな薫風が吹き抜けていきます。早いもので4月も終わりました。新しい環境にまだ慣れないこともあるかもしれませんが、あせらず自分のペースをつくって進んでいくことが大切です。

さて、「ウサギとカメ」の話はあまりにも有名です。ウサギとカメは、山の頂上を目指して競争をしますが、ウサギは、明らかに自分よりも走るのが遅いカメとの競争に、「きっと自分は勝つだろう」と油断をし、途中で昼寝をしてしまい競争に負けてしまうという話です。この話から、「どれだけ自分の能力に自信があっても、油断せずに物事に取り組むことが重要」、「真面目に努力しながら取り組むことで、いつか大きな成果を得られる」という教訓を学ぶことができます。

以前読んだ本(上坂 徹 著「ビジネスマンのための新しい童話の読みかた 人生の壁を破る35話」)の中に、ウサギとカメの話について納得させられることが書かれていました。それは、「ウサギはカメを見ていたが、カメはゴールを見ていた」ということです。ウサギはカメを見ていたから、待ってもやってこないカメに油断して昼寝をしてしまった、カメはゴールを見ていたから、歩みは遅いが足の速いウサギに勝てたということです。

私たちはとかく自分を他人と比較して優劣をつけたり、人と違うことに悩んだりします。また、人と違うことを理由に、避けたり攻撃したりすることもあります。私はこのことについて生徒に「自分の大切なこと、好きなことは人に何を言われようと手放さない。相手の大切なこと、好きなことは絶対に奪ってはいけない。」と話しています。本太中の生徒全員が、自分の、そして相手の大切なこと、好きなことを大事にしてもらいたいと思います。

ところで、今年度本太中では、「2024 本太中 ティーチャーズ スピリット」を定めました。これは本太中教職員の精神というべきもので、常に持っている心、姿勢です。具体的には、

「同僚性」：教職員同士が互いに支え合い高め合いながら協力して教育活動を展開する。

「レジリエンス」：教職員の協働を通して教職員のレジリエンスを高め、生徒のレジリエンスも高めていく。(レジリエンス：困難に直面してもしなやかに回復し乗り越える力)

「改善」：さらに良くなれないかと考えながら教育活動を展開する。

「感謝」：生徒、教職員、保護者、地域・・・誰に対しても感謝の気持ちを持ち、それを伝える。

「無謬」：間違わないことではなく、正しいこと、嘘のないこと。

また、本太中では、教職員が「なぜか、本当か、正しいか」と自分の担当の校務について考え、子どもたちと教育活動を展開してまいります。

さらに、今年度は情報発信にも力を入れてまいります。今年度、本校のWebページの更新の頻度を高め、この「2024 本太中 ティーチャーズ スピリット」をはじめとした情報以外に、生徒の活動等を日々掲載してまいります。ぜひご覧ください。

最後に、先ほどのウサギとカメの話には様々な続編があるのだそうです。その一つに、ウサギとカメがもう一度競争して、今度はウサギが勝つのですが、ウサギもカメも喜んでいるというものです。ウサギは油断せず走り勝ったことに喜び、カメはウサギには負けましたが、ウサギに勝った時よりも早い時間でゴールしたことに喜ぶ。素敵な話だと思いませんか。